

「育ちと学びをつなぐ」  
幼保小連携・接続版①



# 遊び学び育つひろしまっ子！



今年度、新しい小学校学習指導要領が全面実施されました。今回の改訂では、小学校へ入学した児童が乳幼児期の教育・保育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実が求められています。

今年度から発行するNEWS LETTERでは、「『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携・接続版」として、小学校の先生方及び園・所の先生方に向けて、年間4回ほど、幼保小連携・接続に関する様々な情報をお伝えします。

今回のテーマは、「学校再開に向けて」です。

## 〈小学校の先生方へ〉

広島県乳幼児教育支援センターでは、「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン (H29.2) に基づき、様々な取組を行っています。幼保小連携・接続も重点を置いている取組の一つです。

今年度から園・所の先生方を中心に、お役に立つ情報やセンターの取組などを、NEWS LETTERとして発信していきます。第1号は、園・所の先生向けに発行しました。NEWS LETTERはホームページにも掲載予定です。よければ、そちらもご覧ください。

## 学校再開に向けて ～私たちができること～



今年度のスタートカリキュラム実施に向けて、先生方はたくさんの準備をされてきたことと思います。

自由遊びを取り入れて、自然と子供たちが仲良くなれるようにしよう…  
子供たちの思いや願いを大切にされた合科的な指導を試みよう…  
園・所の先生方に見てもらって、今後もっと充実していこう…

しかし、残念ながら、入学後、数日で小学校は休業となってしまいました。

コロナ禍での学校再開に向けて、子供たちのために私たちができること、すべきことは何でしょうか。朝倉淳教授から、学校再開に向けてメッセージをいただきました。



## メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子大学 朝倉 淳 教授

「楽しさ」という

お土産がある一日



「早く友達と会いたい」「勉強がしたい」「体を動かしたい」子供たちの切なる声です。  
子供の育ちや学びに何が必要なのか。私たちは今、大切なことを学習中です。  
子供たちは有形無形のストレスを受けています。思わぬことをしたりするかもしれません。それを柔らかく受け止めながら、新しい生活様式におけるリズムを作っていくことが大切でしょう。新一年生はもちろん、すべての児童にとって大切なことです。  
教師も強いストレスを受けています。不安や焦る気持ちもあります。このような時だからこそ、子供たちとともに日々の出来事を楽しみ、笑顔に分かち合いたいものです。  
学校から家に帰る時、何かしらの「楽しさ」を持ち帰ることができれば、本人にとっても家族にとっても素敵なお土産となるでしょう。  
学校でのそんな一日の創造。これができるのは、学校の現場で子供たちとともに生きる教師だけなのです。

朝倉教授には、本県のような取組に関して御指導をいただいています。子供と向き合う教師として、大切なことを教えてください。園・所の先生方は、学校を園・所に置き換えてみてください。

## ～ やってみよう！今できることを ～

学校（園・所）は安心でき、楽しい場所であること、そしてそこには信頼できる大好きな先生や友達がいること、それを子供たちが実感できることが大切です。これは、本来どんな状況でも言えることです。

当初予定していたことができない中でも、方法を変えたり、大切にしたい心構えを確認したりすることで、小学校生活入口の1年生の生活は確実に変わることでしょう。取組の一端を御紹介します。

### 合言葉は「笑顔多めに！」

廿日市市立廿日市小学校では、4月当初、計画していた規模を縮小してスタートカリキュラムを実施しました。画像は、朝のにこにこタイム（自由遊び）の様子です。

子供たちはこの時間を楽しみに登校し、友達を自然につくっていったそうです。先生は、安心第一、そして「笑顔多めに」子供たちと接しました。



「一緒にあやとりしよう！」



「園でこま回しをしてたよ。」

「安心・成長・自立」  
をキーワードに、  
子供の学びと育ちを  
つなごう！

学校再開時にもこのような取組が、場合によっては必要かもしれません。

### 家庭でできるスタートカリキュラムの提案！

安芸太田町では、家庭でできるスタートカリキュラムとして、「くらし」や「あそび」の中にある「まなび」のチャンスを各小学校のHPで紹介しています。保護者の声かけのヒントもあり、安心して学校再開を待ち望めるようになっていきます。

### こんな時だから…園・所の先生としっかり手を組んで！

長い休業生活で、学校再開を不安に思う子供たちも多いと思います。例えば、園・所の先生に学校に来ていただき、安心して学校生活をスタートできるような取組をしてみませんか？

スタートカリキュラムの趣旨は、子供たち一人一人が主体的に自己を発揮できること。そのために、この厳しい状況でこそ大切なことは何かを忘れないことです。何ができるのか一緒に考えていきましょう。

※掲載の取組の詳細は研修等で御紹介します。



## 乳幼児教育支援センターでは、幼保小連携・接続に係る取組を行っています！

### ★「育ちと学びをつなぐ」

#### 幼保小連携教育の推進事業

- ・7市町（廿日市市、海田町、坂町、安芸太田町、尾道市、府中市、三次市）を指定。
  - ・市町、市町教育委員会が連携し、連携協議会や研修会、相互参観などの体制を整備。
- 【報告会：令和3年2月25日（木）】

### ★各種研修

- 連携担当教員研修会（小学校対象）
  - ・スタートカリキュラムの改善に重点を置いた内容です。
- 「育ちと学びをつなぐ接続カリキュラムの編成」講座
  - ・集合しての研修を変更して行う予定です。



### ★幼児教育長期派遣研修

- ・本県の幼保小連携・接続の充実のため、小学校教諭を一年間、園・所に派遣。
- ・今年度、社会福祉法人微妙福祉会坂みみょう保育園及び広島大学附属三原幼稚園で2名が研修中。

☆「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携・接続フォーラム 令和3年1月18日（月）PM広島県民文化センターホール  
これからの連携・接続に向けて、國學院大學 田村 学教授の講演及び安田女子大学 朝倉 淳教授をコーディネーターとしたパネルディスカッションを行います。（対象：園・所、小学校の先生方）

※今後の状況によっては研修等の延期・中止の可能性があります。通知やHPでご確認ください。

### 【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局（東館6階）

TEL (082)513-4978 FAX (082)212-3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>

